

-日本の女性が生涯、健康にいきいき生きてゆくために-

今、保健医療者にできることとは？

聴いて見つけてほしいあなたの健康パートナー

10月18日は更年期の女性の健康を考える“世界メノポーズデー”です。この日から1週間で“メノポーズ週間”として更年期女性の健康について様々な行事が行われます。

生涯にわたる女性の健康支援について、保健医療者と一般女性がともに同じ視点で考えてゆくことは非常に重要なことです。産婦人科医師の不足、あるいは医師全体の不足など大きな保健医療領域の課題が山積するなか、今こそ、医師(歯科医師)のみならず、薬剤師、保健師、助産師、看護師、栄養士、理学療法士など保健医療に関わるすべての医療者が力をあわせて、時代のニーズにあった健康支援の職能を発揮して国民とともに健康施策を実施してゆく必要があります。このたび、『NPO法人 21世紀ウイメンズヘルス研究会』の設立と、本年から設けられた「メノポーズ週間」の設立を記念した公開講演会を下記のように開催します。多くの方々にご参加下さいますようお願いいたします。(医療関係者のみならず一般の方の参加もオープンで参加可能です。)

記

日 時：平成19年10月18日(木) 午後7時から9時00分

場 所：TKP 御茶ノ水ビジネスセンター(詳細は受付票に記載します)
(JR お茶の水駅 聖橋口 徒歩2分)

参加費：無料 (*申込み先着順 100名にて締め切りとさせていただきます*)

10月16日までに受付の可否についてご連絡をいたします。締め切り次第HPに掲載します。

はじめに ご挨拶『NPO法人 21世紀ウイメンズヘルス研究会』研究と活動のあゆみ
NPO法人 21世紀ウイメンズヘルス研究会 副理事長 宮原 富士子

特別講演 「生涯にわたる女性の健康支援

産婦人科領域における保健医療者の連携の重要性を考える」

今、産婦人科領域でおきていることについて、解決の糸口について参加者皆で考えたいと思います。

東京医科歯科大学 生殖機能協関学 名誉教授

NPO法人 21世紀ウイメンズヘルス研究会 理事長 麻生 武志 先生

特別招聘講演

映画監督 松井 久子 氏

「女性の生きる姿」(仮題)

一人の人間としての女性、母親、娘、その母娘の交流、
加齢、夫との関わり、医療や介護における女性の姿 など
幅広い視点から 松井監督のお話をうかがいたいと考えています。

講演終了後 ミニシンポジウム形式で 講演者とフロアーの交流を図ります。

主 催：NPO法人 21世紀ウイメンズヘルス研究会(<http://www.whf21.org>)

後 援：日本更年期医学会(<http://www.j-menopause.com/>)

〒111-0032 東京都台東区浅草3-4-1

問合せ先：FAX03-3876-9084 [メール jimukyoku@whf21.org](mailto:jimukyoku@whf21.org) (担当 宮原)

申込は FAX で→03-3876-9084(NPO 法人 21 世紀ウイメンズヘルス研究会)

『NPO法人 21世紀ウイメンズヘルス研究会設立
ならびに「メノポーズ週間」設立記念講演会』
-日本の女性が生涯、健康にいきいき生きてゆくために-
今、保健医療者にできることとは？ 聴いて見つけてほしいあなたの健康パートナー

参加申込書

『NPO法人 21世紀ウイメンズヘルス研究会設立ならびに「メノポーズ週間」設立記念講演会』参加を申込します。

お名前： _____

ご所属（ご所属は医療関係者の方のみご記入ください）： _____

ご連絡先(受付票送り先 住所もしくは FAX のいずれかで結構です。)

郵便番号： _____

住 所： _____

FAX 番号： _____

参加人数： _____人(一人の場合は一人、複数来られる場合合計人数を書いてください)

当日ぜひお聞きになりたいことがあれば自由に下記に記載ください

上記個人情報に関する情報は、NPOWHF21 からの行事やセミナーなどのご案内等にものみ使用させていただきます。